



## PRESS RELEASE

2019年5月27日

### 麻布大学、菊水健史教授「社会の起源」― 動物における群れの意味 ―の発行 動物が群れ、動物の社会を形成する仕組みをひも解く

麻布大学

麻布大学（学長：浅利昌男，本部：神奈川県相模原市，URL：<https://www.azabu-u.ac.jp/>）は、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」の研究統括者である獣医学部動物応用学科教授菊水健史が、本研究事業にも関連する研究活動の成果として、「社会の起源」―動物における群れの意味―（共立出版）を発売しました。

本書は、脳科学研究の最前線の研究者が脳科学の特定テーマに関して紹介する共立出版のブレインサイエンス・レクチャー シリーズの第6巻として発売されました。

本書では、動物が群れて社会を形成する仕組みをひも解いています。群れの基本形が家族によることから、オスメスの関係性がどのように成り立つのか。生まれた仔をどのように擁護するのか、という観点から個体間の関係を見直し、その関係がいかに集団に発展していくか、という点に着目して解説しています。

最終的には生物としての「ヒト」の特性に言及しています。私たちも人間であると同時に、他の動物と同じく自然の中で共生のしくみを作り出してきた生物学的な「ヒト」でもあります。一部は哺乳類など他の動物と同じ機能を有し、また一部はヒト特異的でもあります。人間が「ヒト」として存在してきたことも、「集団」を理解することによって、その一端が解けることとなります。

また、本書では異種間による集団の形成についても触れている。異種間の集団としてヒトとイヌを取り上げて詳しく解説しています。

○著者等紹介：菊水健史 [キクスイタケフミ]

1970年鹿児島生まれ。東京大学農学部獣医学科卒。獣医学博士。三共（株）、東京大学農学部生命科学研究科助手を経て、2007年麻布大学獣医学部准教授、2009年同教授

<著書の概要>

- ・シリーズ名 ブレインサイエンス・レクチャー 【6】巻
- ・出版社：共立出版
- ・単行本：A5版／162ページ
- ・発売日：2019/4/30
- ・本体価格：3,200円
- ・ISBN：978-4-320-05796-8





●目次

- ・第1章 はじめに
- ・第2章 群れの構成要因
- ・第3章 群れの機能
- ・第4章 母子間の絆
- ・第5章 雌雄の惹かれ合い—フェロモンを中心とした話題
- ・第6章 縄張り行動
- ・第7章 動物における共感性
- ・第8章 共に生きる

●本書に関して

社会の起源—動物における群れの意味—

<https://www.kyoritsu-pub.co.jp/bookdetail/9784320057968>

<関連情報>

- ・麻布大学 文部科学省私立大学研究ブランディング事業に関して

<https://project.azabu-u.ac.jp/>

- ・菊水健史教授について

[https://www.azabu-u.ac.jp/academic\\_graduate/lab/teacher/va/kikusui\\_takefumi.html](https://www.azabu-u.ac.jp/academic_graduate/lab/teacher/va/kikusui_takefumi.html)

- ・介在動物研究室

<https://sites.google.com/carazabu.com/lab-kaizai/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

<本件のお問い合わせ先>

麻布大学 広報課 担当：栗末，海保

- ・電話：042-769-2032,
- ・メール：[koho@azabu-u.ac.jp](mailto:koho@azabu-u.ac.jp)
- ・HP：<https://www.azabu-u.ac.jp/>